

～iPS細胞+AIによる個別化予防の実現に向けて～

日程

2022年3月1日 (火)

会場

京都大学国際科学イノベーション棟  
シンポジウムホール

→ハイブリッド開催※

オンライン/京都大学iPS細胞研究所

年会長

曾根秀子 (横浜薬科大学)

プログラム概要

◆特別講演

・ Thomas Hartung (Johns Hopkins University/University of Konstanz)



「The state of the scientific new-normal in toxicology: Gene-environment interactions in developmental neurotoxicity」

・ 古江 美保 (株式会社ニコン ヘルスケア事業部)



「iPS細胞由来神経幹細胞を用いた化学物質の毒性予測法」

・ 谷 英典 (国立研究開発法人 産業技術総合研究所)



「ノンコーディングRNAをエンドポイントとする化学物質の毒性評価予測」

・ 夏目 やよい (国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所)



「データ駆動型安全性評価の諸問題」

◆コンソーシアムの活動報告

毒性物質選定・SOP・細胞標準化・予測システム・OECD対策等

◆一般演題 (ポスター発表)

発表領域: 幹細胞、Omics、ヒト細胞、疾患モデル、薬理作用 等

早期参加登録締切日: 2022年2月8日 (火)

一般演題登録締切日: 2022年2月8日 (火)

幹細胞を用いた

2022年度年会

幹細胞を用いた化学物質リスク情報共有化コンソーシアム

安全性評価の新時代

〈参加登録〉

会員: 7,000円

一般: 10,000円

学生: 無料 (学生証確認)

詳細・参加登録はこちらから:



<https://scchemrisc2022nenkai.stemcellinformatics.org/>

※会場では、状況に応じて入場制限を実施する可能性があります。



幹細胞を用いた  
化学物質リスク情報共有化コンソーシアム  
Stem Cell-based Chemical Risk Information Sharing Consortium (scChemRISC)